

令和7年度 第1回かほく市行政改革推進委員会 会議録

○会長の選任、職務代理者の指名

日 時	令和7年10月23日（木） 午前9時57分～午後0時08分
場 所	かほく市役所 西フロア3階 302会議室
出席委員	坂野委員、南委員、西田委員、松本委員、元木委員、吉田委員、塩本委員、浜本委員、山崎委員、西村委員、河内委員、竹本委員（12名）
事 務 局	総務課【松原課長、南主幹、石野主査】
議 題 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 会長の選任、職務代理者の指名について 4. 行政改革の推進体制及び実施スケジュールについて 5. 第4次行政改革実施計画の取り組み結果について 6. 第5次行政改革大綱の概要等について 7. その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5次かほく市行政改革大綱 ・ 第5次かほく市行政改革実施計画書 ——以下、事前配布済み資料—— ・ かほく市行政改革推進委員会設置条例 ・ かほく市行政改革推進体制 ・ 行政改革推進委員会 今後のスケジュール ・ 【総合評価】第4次行政改革〔R2～R6〕の実施結果について ・ 【第4次行政改革実施報告】（抜粋） ・ 第5次かほく市行政改革大綱（概要版）

- ・ 西田委員の推薦により、坂野委員が会長に選任された。
- ・ また、坂野委員の指名により職務代理者は南委員に決定した。

○かほく市行政改革の推進体制及び実施スケジュールについて

- ・ 事務局より、かほく市行政改革の推進体制及び今後のスケジュールについて、会議資料に沿って説明を行った。

○第4次行政改革実施計画の取組結果について

- ・ 事務局より、第4次行政改革実施計画の取り組み結果として、目標達成に至らなかった7項目についての実施内容や実施期間における主な実績、目標達成に至らなかった要因等の説明を会議資料に沿って行った。

○第5次行政改革大綱の概要等について

- ・ 事務局より、第5次行政改革大綱の概要についての説明を会議資料に沿って行った。

○その他

- ・事務局より、報酬支払についての説明を行った。

【主な質疑応答】

《第4次行政改革実施計画の取り組み結果について》

(委員)

・令和6年度第4次かほく市行政改革実施報告書における「実施項目 8 防災体制の強化」についてであるが、令和6年能登半島地震を受けて、災害対応が思っていたとおりにできなかった問題点がどこにあったのかをまず整理した上で次の段階に移行する必要があると思う。

⇒令和6年能登半島地震の反省点を踏まえ、地域防災計画の全面改訂に取り組み始めるところである。第4次の行政改革では、市民の皆様の防災意識を高めていただくということで「防災体制の強化」に取り組むという内容であったため、そこまで踏み込んだ評価はしなかった。第5次の行政改革実施計画においても、地域防災計画についての項目はないが、安全・安心なまちづくりのための基本部分であるのでしっかりと取り組んでいきたい。(事務局)

(委員)

・災害対応が思っていたとおりにできなかった問題点の洗い出しが一番大事だと思う。その問題点を一つひとつ解決していくことが安全・安心なまちづくりに繋がると思う。

・令和6年能登半島地震の発生に伴い、災害ボランティアセンターを開設した。その中で様々な問題が発生したため、社会福祉協議会と民生委員で災害ボランティアセンターに関する問題提起をしようと思ったが、どこに言えばいいかわからなかった。

⇒防災環境対策課が地域防災計画の担当になるので、委員からのお話を伝えさせていただく。
(事務局)

(委員)

・私は委員だが、行政側から意見を申し上げる。現在、地域防災計画の全面改定において、震災対応の反省点を取りまとめるということを予定している。机上でやっても実地にうつせなかったということを今回の震災で実感している。反省点についてもアンケート調査を実施している。今回の震災対応の反省点を取りまとめて、地域防災計画の改定において反映できるものは反映するというご理解いただきたい。

(委員)

・能登半島地震発生後に、民生委員と区長とで大崎地区を回っていた中で、様々な情報を聞いたが、どこへ言えばいいのかわからなかった。災害対策本部において、市民やボランティアの皆さんの情報を吸い上げやすいような構成・体制づくりをお願いしたい。

(委員)

・行政改革の目標設定はどのように決めているのか。

⇒行政改革専門部会において実施計画の内容や数値目標を検討し、行政改革推進本部において実施計画としてまとめるという形になっている。(事務局)

(委員)

・目標達成に至らなかった項目を見ると3つ観点がある気がしており、1点目は事業の善し悪し、2点目は推進体制が適切であったかかどうか、3点目はその事業が行政内で完結するものか地域住民を巻き込みながらやっていくものかどうか。特に、地域住民と何かをやっていくような行政内で完結できないものは、今後課題として挙げられ、第5次の計画においても大事な視点になるのではないかと感じている。

⇒今回の第4次行政改革の実施結果において目標達成率が高かったのか低かったのかというところで、これまでの行政のやり方だけでなく、地域住民を巻き込んでいくやり方というのは大切であるので、ご意見をいただきながら取り組んでいきたい。(事務局)

(委員)

・令和6年度第4次行政改革実施報告書の「専門的業務研修の実施」における結果分析と今後の対策について、『育児休業職員の増加により、実働職員が充足していないため、長期間にわたる研修の参加が難しくなっていることから、実働職員数を増やすなどの抜本的な対策が必要である』ということだが、近年の人手不足などの社会情勢を鑑みると現実的には抜本的な解決策になり得ないのではないかと感じている。どうしたらいいかというと、それぞれの職場で誰が休んでも回るような職場づくりを推進していかなければならないと思っている。育児や介護など様々な事情がある中で、何かしらの事情が起こった場合でも対応ができるような環境である。誰が休んでも回るような職場づくりも併せて進めていかないことには研修も受けられない。研修を受けることが目標になっているが、本来は課題があってその課題を解決するための研修であると思う。研修を受けるそもそもの課題は何かということにフォーカスを当てて目標設定をしていった方がいいのではないかと感じている。

⇒課題として取り組んでいきたい。また、目標項目である「専門的業務研修の実施」における職員の派遣人数についても、人数だけでなく職員の専門知識の習得ということで成果も大切にしていきたいと思っている。(事務局)

(委員)

・第4次行政改革の実施結果における介護者教室の実績について、近年の少子高齢化に伴い、認知症になる人はとても増えていると思う。認知症の家族を支えながら生活を維持していくことは非常に難しい世の中になっていると感じている。認知症の方への介護方法を知りたいという方は相当数いるのではないかと感じているにも関わらず、介護者教室に参加された方が1桁しかない。介護者教室の周知方法や実施方法について、できるだけ多くの方に参加していただけるように検討していただければいいのではないかと感じる。

⇒認知症の方を支える家族からの困りごとについての相談件数は増えている。様々な手法を使い、介護者教室を周知できるよう工夫・検討していきたい。(事務局)

(委員)

・私自身が実施している都市部でのかほく市への移住セミナーにおいて、収入が減ることへの不安・知り合いがいらないことへの不安・車生活への不安の3つをよく聞く。1つ目の収入が減ることへの不安に対しては、収入は減るが支出も減る分、可処分所得が増える説明をすると納得いただける。2つ目の知り合いがいらないことへの不安に対しては、私自身、かほく市への移住者として不安があった。そこで、自治会に入り、知り合いを増やすということ

実践した。ただ、その自治会の情報がどこで入手できるかわからなかった。例えば市役所のホームページなどで各自治会の情報を掲載していただけると、転入者にとっては非常にありがたいかなと思っている。また、移住者が誰かに相談したいという場面がある。そういったときに、市民の方がメンター（師匠）になっていただいて移住者が相談できるような体制ができていれば不安が解消できるのではないかなと思っている。3つ目の車社会への不安に対しては、メンター（師匠）が運転のレッスンをしたり、ペーパードライバー講習に対する補助金を出すなど、移住者にとって優しい案内というものをぜひ充実させていただけるといいのではないかなと思っている。

⇒第4次の行政改革の計画においても「定住促進の推進」というところで住みよさの発信という項目を掲げている。いただいたご意見を第5次の参考にさせていただきたいと思っている。（事務局）

（委員）

・今の話に関連して自治会の話をしていただきたい。私の自治会の話で言えば、転入された方に対して、まずは自治会長・区長への挨拶をお願いしている。この目的としては、転入されてきた方が地域の皆様と馴染んでいただくため、自治会長・区長に挨拶をしていただいた段階で地域のイベントの案内などを行っている。自治会がしっかり対応をしなければならぬと思っている。今後も継続してやっていきたいと思っている。

⇒都市部からのIターンやJターンによる移住者の方々は、インターネットなどで事前に調べられたりするケースがあるので、効果的な発信方法などを検討していきたい。（事務局）

（委員）

・集合住宅に入られた方を把握することが難しい課題だと思っている。

（委員）

・まさに私も集合住宅にいた身として地域に馴染みたかったが、なかなか情報がなく、どうすればよいかわからず困った点であった。戸建て住宅に入った段階で案内があり、自治会に加入することができた。そういった点で集合住宅に入られた方もインターネットで入手できる情報があるといいかなと思っているし、かほく市への移住を考えている方が、かほく市のホームページを見たときに自治会の情報が掲載されているとちょっと魅力的なものが伝わるかなと思うので、そういった観点で一緒にできたらなと考えている。

（委員）

・例えば、集合住宅に入られる方に対しては本人の了承の上、自治会への情報提供などがあるといいと思う。

⇒現在、市民生活課の窓口において集合住宅・戸建て住宅に関わらず、本人の了承が得られれば自治会へ名前と世帯人数を提供している。（事務局）

（委員）

・今後の行政改革の項目の見直しについて、財政計画・定員管理を含めて教えていただきたい。

⇒平成17年度に策定された第1次行政改革実施計画ではかなり多くの実施項目があった

が、第5次行政改革実施計画ではスリム化している。第5次の行政改革では、財政的な面で「新たな財源確保」という項目を掲げ推進している。定員管理に関しては、適正化計画を検証するということを推進している。今後の行政改革の見直しについては、まず、総合計画を実施していく中で、行政改革の各項目に取り組みながら実施していきたい。(事務局)

《第5次行政改革大綱の概要等について》

(委員)

・第5次の行政改革実施計画における「4 安全・安心な生活環境の整備 マニュアルの整備」について、まずは各拠点避難所の整備・体制づくりから始めていかないといけない。『マニュアル整備』と一括りにされているが、ここの表現を伝わりやすいものにしていただけるといいのではないか。

⇒第5次の行政改革実施計画の取りまとめ段階では、地域防災計画の全面改訂の話がなかった状況で、令和7年度における第5次行政改革実施報告の際には、スケジュールの見直しや内容についての補足を説明させていただく必要があると思っている。(事務局)

(委員)

・かほく市では、各地区に自主防災組織が作られ、小中学校下ごとに拠点避難所があり、その拠点避難所の運営に関しては画一的な防災上のマニュアルに基づき運用されていた。しかし、令和6年能登半島地震を受けて地域ごとの自主防災組織の組織体制の見直しや拠点避難所ごとのマニュアルの整備が必要であるということになった。

・防災士会と自主防災組織連絡協議会を一本化する必要性もあったことから、11月中に防災士会と自主防災組織連絡協議会が正式に統合される。防災に関連した協議などは防災士会と自主防災組織連絡協議会が一緒になって考えていくという体制づくりに取り組んでいるところである。また、行政と各種団体との情報共有がうまくいかなかったという反省もあったので、今後は情報を共有ができる体制づくりが大切になってくるのではないかと考えている。

(委員)

・第5次の行政改革実施計画における「4 安全・安心な生活環境の整備 マニュアルの整備」については、『マニュアルの整備』というよりも『能登半島地震で得た教訓を反映した地域防災計画の大改訂』という表現の方が妥当ではないかという気がする。

⇒いただいたご意見について、実施計画の指標に加えるのか工程を見直すのかななどを令和7年度の実績を踏まえ、担当課と検討・調整していきたいと思う。また、繰り返しになりますが、現在の地域防災計画は、令和6年能登半島地震において実態にそぐわない内容が多々あったとの反省点を踏まえ、全面改訂を行うこととしております。今日お話の合った皆様からの防災に関するご意見を伝えていきたいと思う。(事務局)

(委員)

・第5次行政改革実施計画書における「重点項目3 人材育成及び行政事務の効率化」の⑭働きやすい職場環境の実現、⑮職員の意識改革やスキル向上の推進について、私が本業で普段からやっている内容であり、研修などに関して協力できることはぜひご相談いただければと思う。

(委員)

・まず1点目に、第5次行政改革実施計画書における「重点項目1 市民サービス向上」の③市民の健康づくりの機会創出について、市内スポーツ施設の利用者数を目標設定しているが、令和7年度は49万人、令和8年度は52万人と1年間で3万人増の目標としているが、そもそも施設のキャパ的にこれだけ受け入れられるのかを考えると、現実的ではない数値目標を掲げ、結果として達成できないということが可能性として考えられるのではないかと。次に2点目として、第5次の行政改革実施計画においてどれだけ人口が増え続けるかというビジョンを想定しているのか。人口規模に応じた行政改革というものがあると思っている。その上で移住者がこのまちに愛着と誇りを持って住み続けるために、伝統文化にどう入り混じっていくのか、さらには次世代をこのまちを良くしようという地域の担い手にしていけるのかということが大事だと思っている。職員の方々においては市民をお客さんとして捉えるのではなく、市民や各種団体をコーディネートし、コミュニケーションを取っていくということが求められるのではないかと思う。職員の人材育成の視点でそういった観点もあるといいなと感じている。最後に、職員の採用についても新卒採用だけでなく、中途人材も積極的に採用していくことで、UIJターン希望者が地元に戻り、経験を活かして行政機関で働くということもあったりするのかなというところで、そのビジョンと前向きな事業、必要な人材がマッチしているという事例などをご説明していただけると我々もディスカッションしやすいと思う。

⇒1点目の市内スポーツ施設の利用者数については、現在の利用実績や今後の取り組みを踏まえての目標設定だと思う。目標設定については具体的なビジョンを持ち、今後も策定していくということでご意見としていただくこととしたい。2点目の人口の推移についてであるが、「かほく市総合戦略」や「かほく市総合計画」では人口ビジョンの推計も出しているが、行政改革においてはそういった視点がないので人口ビジョンについても今後の参考にさせていただきたい。移住者に関する部分については、この行政改革実施計画では「住みよさの発信」ということで具体的なことは書いていないので、できる工夫を考えていきたいと思う。

(事務局)

(委員)

・民生委員や自治会役員のなり手不足が問題としてある。市民全体を底上げすることでボランティア集団として自治会の強化に繋がっていくと思う。普通の広報活動をやっているだけでは皆の意識は変わらないと思う。ぜひ皆さんには知恵を出していただければと思う。

・第5次かほく市行政改革大綱(概要版)における「重点項目3 人材育成及び行政事務の効率化」について、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などの先進的な分野も大事だと思っており、人口減少の中でどのようなことをすればどのような効果があるのかを具体化して盛り込んでいただきたいと思う。

⇒DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進ということで、デジタル技術を活用した業務効率化などに取り組んでいるが、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)は試験的な形でしか取り組めていない状況であるので、全国での先進事例を参考にできることに取り組んでいきたいと思う。(事務局)

(委員)

・第5次行政改革実施計画書における「重点項目1 市民サービス向上」の③市民の健康づくりの機会創出の市内スポーツ施設の利用者数について、スポーツに馴染みのない方にとってスポーツというものはハードルが高いと感じている。しかし、最近はウォーキングなどを行っている方をよく見掛けることがある。私自身、ウォーキングしたいと思っているが、安全に歩ける場所が市内にはないと思っている。唯一、河北台中学校の周囲は歩ける状況にあるが、裏側は暗く防犯面で不安がある。しかし、そういったコースを歩きたい方は多いと思う。街灯の設置や歩いている人数を把握できるようなシステムの導入などを検討していただけたらと思う。

⇒ウォーキングコースについてであるが、健康づくりの観点から石川県立看護大学にご協力をいただき、市内に数か所設置している。ウォーキングコースを含めた体育施設をモニタリングするという事は、運動している方の人数把握にも繋がると思うので、所管課と意見を共有したいと思う。(事務局)

(委員)

・かほく市が活性化し、発展していくためには、市内各地区の協力体制の評価が非常に大切な要素になると思う。民生委員や防災士、地区の役員のなり手不足が課題としてある中で、区長が皆さんにお願いしてなっていたりしている。それぞれの職務を全うしていただくために自治会が全面的に協力しているところである。自治会だけでなく、自治会と行政とが一緒になって頑張っていこうという体制づくりを実施計画書に盛り込んでいただきたい。

⇒すぐに実施計画書に盛り込むことはできないが、他の委員さんからもご意見をいただいているかほく市に愛着を持てるような、行政と自治会とが協働するまちづくりという視点も大切にしながら取り組んでいきたいと思う。(事務局)

(委員)

・それぞれの自治会の行事予定などを市内の自治会が共通で活用できる電子掲示板の整備について考えていただきたい。例えば、イベントの中止案内などは基本的に町会長や班長からの口コミであり、情報が伝わらない方もいた。そういった経緯から、皆が情報を確認できるようなものがあれば大変助かる。システムの保守などは市で対応いただき、各自治会は情報をアップロードするというものである。機会があればお願いしたい。

⇒ご提案いただいたご意見については、自治会の自主広報をどのようにやっていくのかということに繋がると思うので、町会区長会連合会と情報を共有し、検討を進めていけたらと思う。(事務局)

午後0時08分会議終了